

【えひめ医療機器開発支援ネットワーク勉強会】



講演テーマ：「医工連携から生まれた、新しいひざ手術器械」

講師：整形外科医 森実 和樹 先生

日時：令和2年2月27日（木） 16時00分～18時00分

参加費：講演会は無料。

※講演会後の懇親会につきましては、今回は中止とさせていただきます。

場所：一番町ホール（松山市一番町2丁目4-8 久保豊一番町ビル3F）

会場には駐車場スペースがないため、公共交通機関でお越しください。

申込：ohsaka@ehime-iinet.or.jp までメールにてご連絡をお願いします。

【申し込み締切】令和2年2月19日（水）

【概要】

医師から見て、手術に使用する器械の改良の余地は多くあります。しかし、一般的には大手メーカーが作製した器械に依存しており、より使いやすく改良されることはほとんどないのが現状であります。

今回、医工連携での出会いで、これまで難しい手技とされていたひざ手術のための器械が完成し、市販されるに至りました。医師の求めることと、製作する側との間に埋めるべき課題は多くありますが、今回の様に、上手くコミュニケーションが取れば、有益な機器を生み出せることについて、お話させていただきます。

森実先生 略歴

1966年（ひのえうま）、愛媛県新居浜市生まれ。

1985年今治西高校を卒業し、同年愛媛大学医学部に入学。

1992年卒業後、愛媛医療生協（愛媛生協病院、新居浜協立病院）で基礎研修を行う。

1994年から2年半、北海道、福岡で整形外科研修を行い、1997年愛媛生協病院に帰任。整形外科部長、副院長を勤めた後、2018年3月退職。

2018年4月から、フリーランスの整形外科医として、愛媛生協病院ほか、今治・白石病院、整形外科つばさクリニックで外来診療と手術を行っている。月1回、無医村の西予市明浜町・たんぽぽ俵津診療所でも診療している。また、依頼があれば、松山赤十字病院、十全付属病院、西条中央病院、周桑病院、宇和島・加藤整形外科など、県内各地の病院に出向いて手術を行っている。

専門は、膝関節外科、スポーツ整形外科、超音波診療。

2009年からサッカーJ2の愛媛FCのチーフチームドクターを務めている。